

問3 平均値や標準偏差を求める場合、小数点以下第何位まで計算すればよいのですか。

(答え) ふつうは、与えられたデータの1桁下までで計算しておけば十分です。とくに、度数分布表から、これらの値を求めるときには、問2でもふれましたように、各階級内の値を、すべて中央の階級値にしわよせしたための誤差がありますから、多くの桁数を出しても意味がありません。

しかし、与えられたデータの1桁下まで、というのも一応の目安であって、例えば、身長などの場合、平均値153.67cm、標準偏差8.72cmと求めてみても、大した意味がありませんから、この場合、平均値153.7cm、標準偏差8.7cmとした方が、むしろわかり易いと思います。

(ただし、調査などで、小数点以下第何位まで、と指定されているときには、これに従います。)